

令和元年度 主な事業 (○は新規事業)

1 ひと・暮らしいきいきふくしま

- 待機児童対策緊急パッケージ 12億3,822万円
 - 市立認定こども園の開設 8,739万円
(市立認定こども園を3園開設し、保育定員を拡大)
 - A Iを活用した入所選考 463万円
(入所希望保育施設数を増やし、待機児童を解消、事務の迅速化)
 - 保育士等奨学資金貸付 2,000万円
(保育士などを目指す学生に修学資金を無利子で貸し付け)
 - 認可外保育施設巡回支援指導事業 288万円
(認可外保育施設を巡回し、指導助言を強化)
- 子ども家庭総合支援拠点事業 594万円
(児童虐待の発生予防などの対策強化に向け、専門職員を配置)
- 幼児教育・保育無償化への対応 1,569万円
(専任職員の配置、システム改修)
- 学校耐震化 6億5,342万円
(校舎、園舎、屋内運動場などの耐震補強)
- 小中・特別支援学校のICT整備 6億327万円
(学校へのタブレット端末の配置、無線LAN環境の整備など)
- 若者の海外チャレンジ応援事業 525万円
(海外研修などの費用の一部を助成、中高生などの自主的な学びを支援)
- 健都ふくしま創造事業 789万円
(地域や職場などと連携し、市民の健康づくりを推進)
- 高齢者元気アップ事業 296万円
(ニュースポーツ用具の整備、高齢者向けICT講座など)
- UIターン移住支援事業 1,296万円
(都内在住者などの本市への転入を支援)
- 消防救急デジタル無線の更新 1億7,984万円
(消防救急デジタル無線を更新し、市民の安全・安心を確保)

- 除去土壌搬出等推進事業 190億円
(学校や住宅などから仮置場への除去土壌の搬出を推進)
- ため池等放射性物質対策事業 3億9,300万円
(ため池の放射性物質の除去)

2 産業・まちに活力ふくしま

- 東北六市連携事業 2億6,099万円
(6月1・2日「東北絆まつり2019福島」の開催など)
- 「道の駅」の整備 5億810万円
(用地取得、管理運営手法の協議検討など)
- オリンピック・パラリンピックの推進 8,800万円
(競技開催準備、合宿の誘致や支援、ホストタウン事業など)
- プレミアム付商品券 16億7,500万円
(プレミアム付商品券を発行し、消費の喚起を図る)
- 農業就業拡大推進事業 374万円
(親元・兼業・移住就農支援、就農費用の一部助成など)

3 風格ある県都ふくしま

- 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備 2億8,080万円
(福島駅東口の再開発、市役所などの公共施設の整備検討)
- 写真美術館の再整備 2億7,282万円
(震災で被災した写真美術館の改修工事を実施)
- 新最終処分場整備 9億7,046万円
(本体建設工事や浸出水処理施設建設工事など)



今年度より
運用開始

新斎場供用開始



新斎場建設工事が完了し、5月18日(土)から火葬業務を開始します。今後とも利用者の方々から快適に過ごせるように努めて参ります。

なお、供用開始後は現斎場の解体工事や駐車場の整備工事に着手し、令和2年度中の完了を予定しています。それまでの間、駐車場の不足などにより、皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

- 所在地／渡利字仏根51
- 施設概要／火葬炉10基、お別れ室5室、待合室9室、授乳室、キッズコーナー、売店・軽食コーナー
- 問／環境課 ☎525-3742

高機能消防指令システム更新整備



今後、増加する訪日外国人に対応するため、119番通報の電話通訳を介した多言語同時通訳、聴覚や発語機能に障がいのある方が携帯電話やスマートフォンを活用して通報できるNET119緊急通報システムなどの新機能を導入しました。さらに画像伝送装置の導入により、災害現場からのリアルタイムの情報が消防本部内で共有できるため、効率的な消防活動が期待されます。指令システムが更新されたことで、優れた操作性と安定稼働をもって地域の皆様に対する消防サービスのさらなる向上を図っていきます。

■問／通信指令課 ☎534-0119

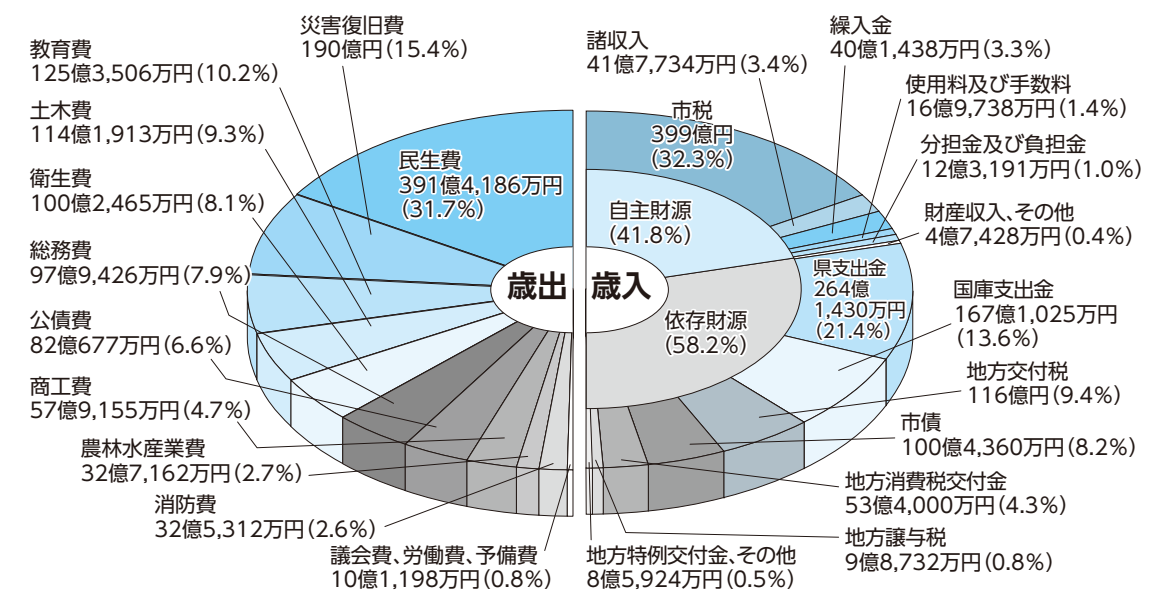
令和元年度 会計別予算額		
会 計 名	当初予算額	対前年度増減率%
一 般 会 計	1,234億5,000万円	△ 8.4
国 民 健 康 保 険 事 業	238億7,694万円	△ 2.3
飯 坂 町 財 産 区	9,428万円	△ 6.4
公設地方卸売市場事業	2億858万円	△ 5.7
特 別 会 計		
土 地 区 画 整 理 事 業	2億7,673万円	△ 3.8
介 護 保 険 事 業	260億2,938万円	0.8
庁 舎 整 備 基 金 運 用	10億150万円	0.0
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	34億8,356万円	0.8
青 木 財 産 区	185万円	△ 17.8
工 業 団 地 整 備 事 業	10億5,656万円	100.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,632万円	△ 10.9
小 計	560億4,570万円	0.3
水 道 事 業 会 計	111億5,240万円	△ 1.4
下 水 道 事 業 会 計	127億9,220万円	0.4
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	3億52万円	△ 0.4
計	2,037億4,082万円	△ 5.3

令和元年度予算の総額は2,037億4,082万円になりました。予算編成にあたっては、3つの政策目標に基づき、健全な財政運営を基調として、喫緊の課題である待機児童対策などに重点的に予算を配分するなど、元気あふれる福島市の新ステージの本格的な始動を実感できる予算を編成しました。

一般会計の予算額は、1,234億5,000万円、前年度に比べると、113億9,000万円、8・4%の減になりましたが、除染関連事業費を除いた予算額は1,040億5,700万円となり、昨年度を上回る積極型予算となりました(各会計の詳細は左表参照)。

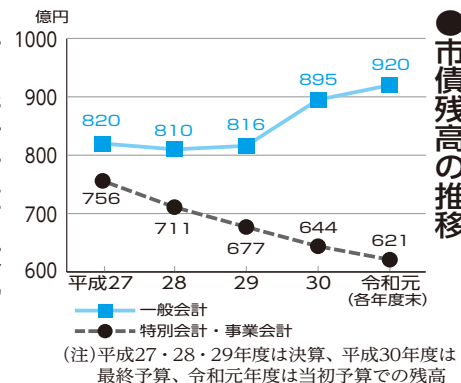
問／財政課 ☎525-3704

一般会計 1,234億5,000万円



土地	10,517,893㎡
山林・原野	17,122,879㎡
建物	973,974㎡
車両	488台
証券その他権利	277億1,300万円
基金	276億7,900万円

●市の所有財産の状況
(平成30年3月31日現在)



- 一般会計とは？
福祉や教育、土木などの一般的な事業に使われ、市の事業の大部分を賄っている予算のことです。
- 特別会計とは？
特定の事業ごとに分けた方が効率のよいものを、一般会計から切り離して経理する予算のことです。
- 自主財源とは？
市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる財源のことです。
- 依存財源とは？
地方交付税や国・県支出金など、国や県により額が定められ、交付または割り当てられる財源のことです。